

Product Manual

取扱説明書

2009年04月作成

製品の特徴

このたびは、NEU CARRY-1.5DSPをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

CARRY-1.5DSPは、コンパクトに収納することができる、持ち運びに適したPA音響システムです。スピーカーとミキサー部分をひとつにまとめて収納することができるボディ形状で、キャスターとハンドルでラクに運搬することができます。

高音質なサウンドクオリティと十分な出力パワーをそなえており、イベント・パーティでの司会・パフォーマンス・ライブ・カラオケ・BGMなどの用途に最適です。マイク2本と、ステレオを2系統入力することができます。高品位かつ多機能なDSPエフェクト、イコライザーなどの機能も充実しています。

この取扱説明書をよくご覧になってからご使用下さい。

NEU

CARRY-1.5DSP



注意

1. 使用について

- 雨や霧、埃を避けてご使用下さい。設置の際は水平で安定した地面に設置し、転倒しないよう注意して下さい。また振動や衝撃を与えないで下さい。
- 周囲の環境に配慮した音量でご利用下さい。
- この機器と電源アダプターは、風通しの良い、通気のある場所に設置してください。
- 電源アダプターを機械やコンセントに接続するときは、ケーブルではなくボディやプラグを持ってください。
- 演奏以外の場合と長時間使用しない場合は、電源アダプターをコンセントからはずしてください。
- 接続したケーブル類は、きれいにまとめてください。事故や破損の原因となります。
- この機器の上に乗ったり、重いモノを置かないようにしてください。
- 濡れた状態で、電源アダプターなどにさわらないでください。
- 機器を移動する場合は、電源アダプターをコンセントからはずし、他機器との接続をはずしてください。
- 落雷のおそれのある場合は、電源アダプターをコンセントからはずしてください。
- 日本国内 100V仕様です。ステップアップ電源などと共に使用した場合、機械に大きなダメージを与える場合があります。

2. 電池について

電池を使用する機器の場合、電池の取扱には充分にご注意ください。

- 電池の極性を間違えないようにしてください。
- 長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 液漏れには充分ご注意ください。
- 液漏れした場合、電池ケース内の液をよくふきとってから、新しい電池をいれてください。金具の腐食が発生している場合、お買い上げ店にご相談ください。液が身体に付着した場合は、ただちに水でよく洗い流し、医師にご相談ください。
- 電池を、金属製のものといっしょにしないようにしてください。
- 使用済み電池は、分別ゴミとして正しく処理してください。

製品内容

パワードミキサー x1・電源ケーブル x1・スピーカー x2・スピーカーケーブル x2
※ケーブル類は、ミキサー背面の収納ポケットに収納しています。

基本的な使用方法

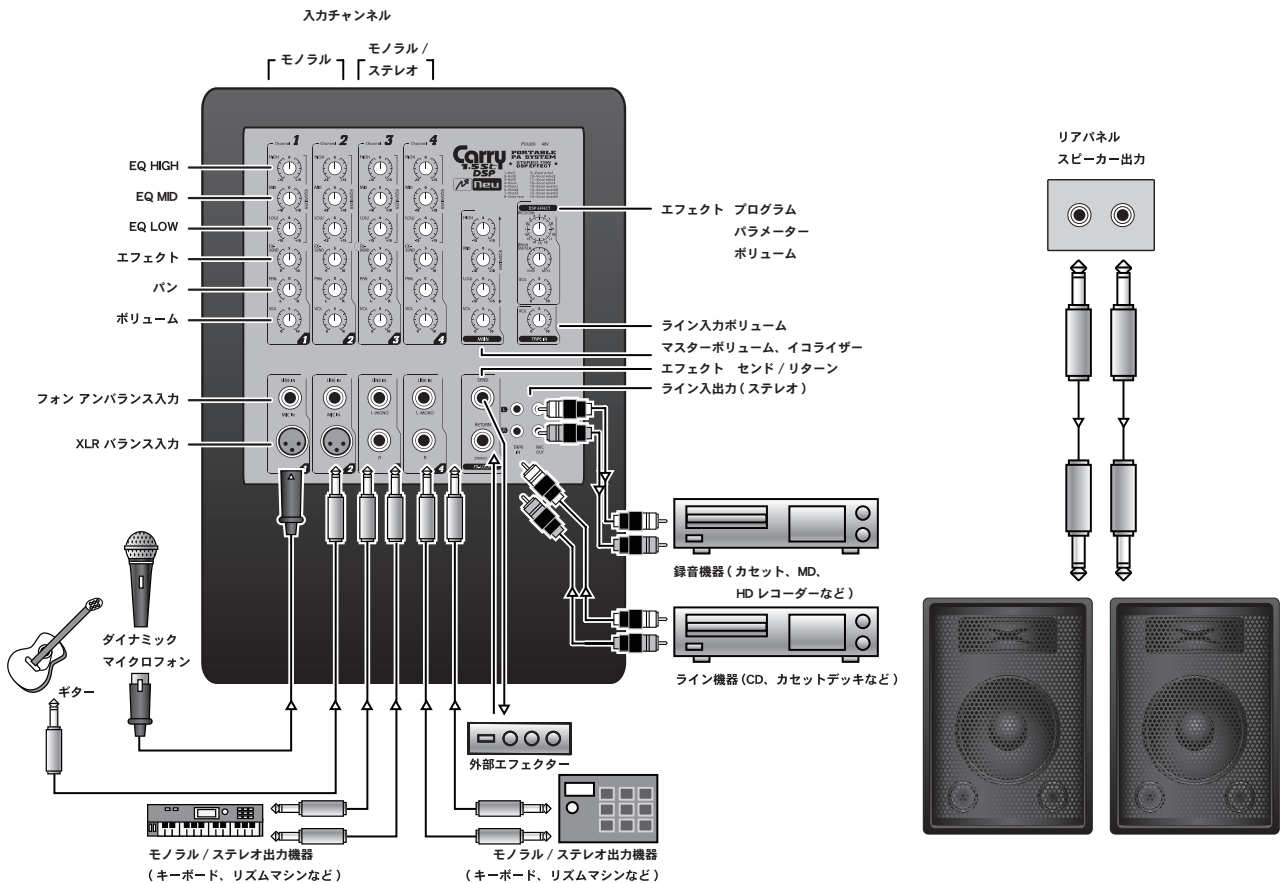
- 1- 本体ミキサーとスピーカーを、スピーカーケーブルで接続します。
- 2- ミキサーの電源がOFFであることを確認し、電源ケーブルを接続します。(アース付コンセントになっています。アースは必ず接地させてください。)
- 3- マイクや楽器を接続します。(マイクは必ずCh1~2のXLR端子に接続してください。)*マイクをフォン端子(LINE)に接続した場合、「マイクの音が小さい」「ノイズが出る」などの症状が発生します。
- 4- すべてのチャンネルのボリューム、マスターボリュームが0であることを確認し、電源をONにします。*ボリュームが0でない場合、電源投入時のノイズなどで機器の破損につながる場合があります。
- 5- 各チャンネルのゲイン、ボリューム、マスターボリュームで音量を調節します。(小さい音量から徐々にボリュームを上げてください。PEAK LEDを参考に決定します)
- 6- 使用を終える場合は、まずすべてのボリュームを0にし、電源をOFFにしてください。ケーブルや機器を取り外します。

警告

	●この機器を使用する前に、かならず以下の注意事項と取扱説明書をよく読んでください。
	●この機器と電源アダプターを分解したり改造しないでください。
	●修理や部品の交換などは、お買い上げ店もしくは指定のサービス以外では絶対におこなわないでください。
	●楽器演奏用の器具です。楽器演奏の用途以外には、使用しないでください。一般オーディオ器具として使用する製品ではありません。
	●国内 100V のみ対応。 付属の電源アダプターを使用してください。
	●次のような場所での使用・保管は避けてください。温度が極端に高いまたは低い場所（直射日光・冷暖房器具の近くなど）、水気のある場所と湿度の高い場所（洗面所・雨中・霧中など）、ホコリの多い場所、振動の激しい場所、ほか。
	●真空管を使用しています。不適当な取扱は、器具の破損、管球の破裂の原因となります。
	●本体は水平な安定した場所に設置してください。不安定な場所の場合、落下や物的損害・けがの原因となります。

	●本体および電源アダプター・ケーブルの上に重いモノを載せたりしないでください。キズや破損の原因となります。
	●適切な音量で使用してください。あなたの聴力や健康に重大な影響を与える場合があります。
	●機器内に異物や液体が混入しないようにしてください。
	●煙が出たり変なニオイがするなどの異常状態のままで使用しないでください。故障・破損・事故・火災・感電等の原因となります。
	●異常と思われるときにはすぐに電源プラグを抜き、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。容易に原因の究明ができない場合、ご購入店に修理を依頼してください。
	●お子様の手の届かない場所で使用してください。
	●この機器を落としたり、強い衝撃を加えないようにしてください。
	●電源容量にはご注意ください。タコ足配線などの無理な配線は火災の原因となることがあります。

各部の名称と接続例



各部の説明

CARRY-1.5DSP は主要な機能のほとんどが、フロントパネルに集まっておりますようにシンプルに設計しています。以下の説明をよくお読みになって、正しくご使用ください。

◆ミキサー・フロントパネル

①インプットチャンネル

イコライザー……HIGH（高音域）MID（中音域）LOW（低音域）の3バンドをブースト／カットします。一般的な使用方法としては、まずつまみをセンターに合わせて。そして不要な帯域の音をカットします。

大幅なブースト／カットは音のバランスが崩れがちですので、補正程度の使い方がオススメです。

基本的にはセンター位置にあわせませす。右に 回すとブースト、左に回すとカットです。

FX-SEND（センド）……内蔵エコー、またはエフェクトセンドに音声信号を送ります。不要なノイズを避けるため、使用していないチャンネルはゼロにしてください。

PAN（パン）……左右に音を振ることができます。

VOL（ボリューム）……各チャンネルの音量

②インプット

CH1/2……モノラル入力。LINE または MIC 入力が可能。

一般的なダイナミックマイクの場合、マイクはかならず MIC 入力（XLR ケーブル）に接続してください。LINE に入力した場合は、音が小さかったりノイズが発生したりする場合があります。実際の使用にあたっては、マイクの取扱説明書もご参照ください。

また、MIC 入力にはマイク以外を接続しないようにしてください。

CH3/4……モノラル / ステレオ入力兼用。LINE 入力。

③マスターセクション

イコライザー……3 バンドイコライザー。最終的な音の補正にとても便利です。基本的にはセンター位置にあわせませす。右に 回すとブースト、左に回すとカットです。

マスターボリューム……全体の音量をコントロールします。

④ FX-ECHO（デジタルエコー）

TIME……エコーの反復が戻ってくるまでの時間です。右に回すほどロングエコーです。

DEPTH……エコーの深さ、かかり具合です。右に回すほど、エコーが強調されます。

VOLUME……エコー音の音量です。

⑤エフェクトセンド・リターン

外部エフェクターを接続します。接続した場合、内蔵エコーはバイパスになります。接続に関しては、外部エフェクターの取説をご参照ください。

⑥ TAPE IN / OUT

カセットデッキなどを接続します。

運び方

CARRY-1.5DSP の本体下部には、キャスターが 2 個組み込まれています。写真のように本体上部のハンドルを持ち、本体を傾けることで、キャスターで運搬することができます。



展開方法

①本体を、安定した場所に立てます。まず一段目のキャッチロック金具を外します

[*キャッチロックの外し方*金具のつまみを手前に引き起こします・反時計回りに回すと、ロックがはずれてゆるみます・ゆるんだ状態でつまみを起こすと、ロックがはずれます。]

②一段目を持ち上げて取り外します。

③二段目も同様に取り外します。



基本的な使用方法

①ミキサーとスピーカーを付属のスピーカーケーブルで付属します。スピーカーの入力端子に接続します。

※スピーカーケーブルは、ライン / マイクケーブルとは異なります。長さが足りない場合や、破損してしまった場合は、お買い求めの販売店までご相談ください。

②ミキサーに電源ケーブルを接続します（付属の電源ケーブルは本機専用です。アースはかならず接地してください）

③マイクや楽器を接続します。

※マイクは、かならず Ch1/2 の XLR 端子に接続してください（マイクをフォーン端子に接続した場合、「マイクの音が小さい」「ノイズが出る」などの症状が発生します）ケーブルの端子形状が合わない場合は、お買い求めの販売店までご相談ください。

④すべてのチャンネルのボリュームとマスターボリュームがゼロであることを確認し、電源をオンにします。

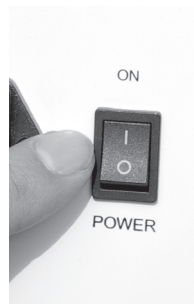


※ボリュームがゼロで無い場合、電源投入時のノイズなどで機器の破損や事故につながる場合があります。

⑤ 各チャンネルのボリューム、マスターボリュームで音量を調節します。小さい音量から徐々にボリュームをあげてください。ボリュームをあげすぎると、音がひずむ場合があります。



⑥ 使用を終える場合は、まずすべてのボリュームをゼロに戻し、電源をオフにしてください。ケーブルや機器を取り外し、展開時と逆の手順で組み立てます。



スピーカースタンド

別売りオプションのスピーカースタンドを使用すると、音声の到達範囲が広がり、クリアで聞きやすい音を広範囲に届けることができます。

・TRIPROP STS-50

アルミ製スピーカースタンド 定価 ¥8,400

マウント穴：直径 35mm です。

高さ：80 ~ 145cm

耐荷重：15kg



故障かな?と思ったら

音が出ない

- ・マスターボリュームがゼロになっていませんか?
- ・電源はオンになっていますか?
- ・ケーブルが破損・断線していませんか?

電源がオンにならない

- ・電源ケーブルは正しく接続していますか?
- ・ヒューズは切れていませんか?

音が小さい

- ・マイクをライン端子に接続していませんか?

音が割れる・ひずむ

- ・ボリュームが大きすぎませんか?
- ・楽器等のライン信号を MIC 端子に接続していませんか?
- ・接続している楽器やプレイヤー側類のボリュームが大きすぎませんか?

主要スペック

電源：AC100V 50/60Hz

消費電力：175W

出力：75+75W@4Ω

ヒューズ：2A

<スピーカースタンド部>

出力：120W RMS/ 180W ピーク 4Ω

周波数特性：45 ~ 20,000Hz

感度：94dB ± 2 1W/M

寸法：

<ミキサー部> W280 H400 D205mm 9.5kg

<スピーカースタンド部> W280 H400 D240mm 7.0kg

<全体> W400 H685 D280mm 24kg

ケーブル長：スピーカースタンドケーブル 5M、電源ケーブル 1.5M

この取扱説明書について

IDE コーポレーション有限公司が制作しています。内容に関する問い合わせは、下記まで。

IDE コーポレーション有限公司

〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24

製品の機能は、改良のため変更されている場合があります。そのため、技術的なデータおよび製品の図面・写真が実際と異なる場合があります。本書に記載の商品名等は、各社の商標または登録商標です。